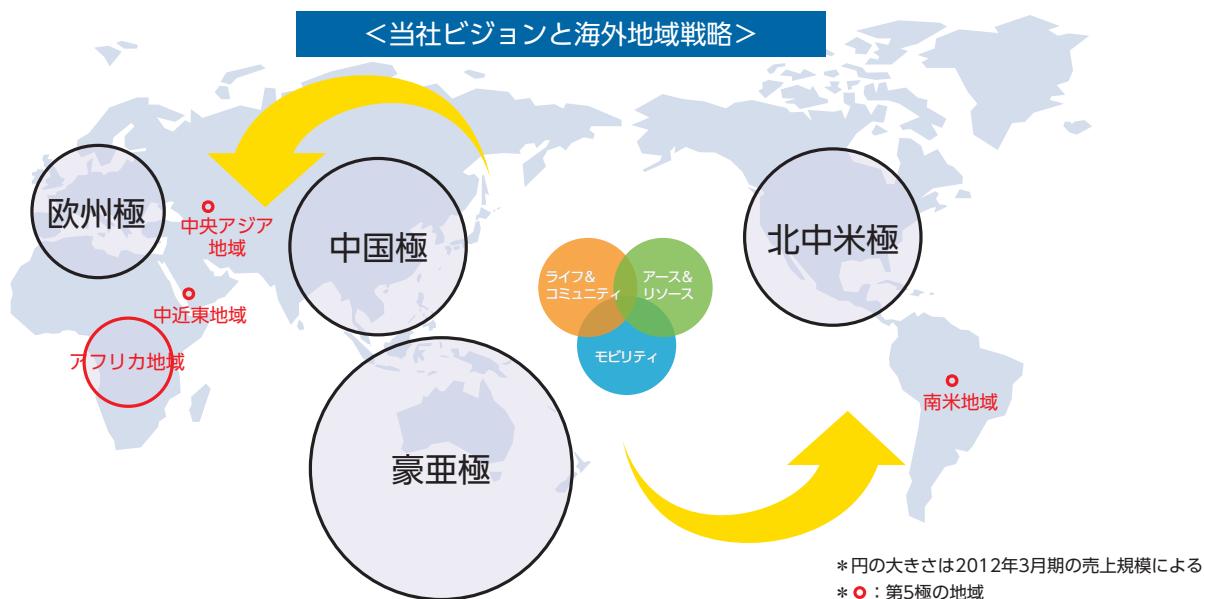


このたび、当社は北部・西部アフリカを中心に事業を展開するフランスの商社「CFAO（セーファーオー）社」への資本参画を行いました。同社への資本参画の意義と今後の取り組みをご理解頂くため、当社のアフリカ市場の位置づけや、CFAO社との今後の協業計画などについてご紹介します。

### 当社の海外地域戦略～なぜ「アフリカ」か～

当社は、「豪亜」、「中国」、「欧州」、「北中米」の4極に加え、新市場である「新興国・資源国」を第5極とする海外事業展開を進めています。今後の発展・成長が期待される第5極、特にアフリカは、人口が増加するなか、基幹インフラ整備が急がれており、また豊富な天然資源が開発されるなど、今後も大きな経済成長が期待できる地域です。成長に伴い、所得水準も上昇して、モータリゼーションも加速していくものと予測しています。

当社はこれまで東部・南部アフリカを中心にモビリティ事業を展開してきましたが、これに、当社ビジョンで掲げる「ライフ&コミュニティ」、「アース&リソース」を加えた3つの事業分野で、更に積極的な事業の拡大に取り組んでいきます。



## 当社のアフリカでの実績

<エジプトの海洋ガス田掘削リグ>



当社のアフリカでの取り組みは、1933年にエジプト・アレキサンドリアに駐在員事務所を開設し、綿花の取引から始まりました。以降80年に亘り、東部・南部アフリカを中心に、自動車販売店展開等の自動車事業や、発電所建設等のエネルギー・プラント事業に取り組んできました。

自動車事業では、1964年にケニア向け完成車の輸出を開始、以後順調に事業を拡大してきましたが、1990年代にアンゴラ他3ヶ国の現地代理店に出資、2001年以降、ケニア、ウガンダ等7ヶ国の代理店・ディーラー事業を買収することでバリューチェーンを川下まで広げ、その結果、東部・南部アフリカでトヨタ自動車の取り扱いNo.1商社の地位を確立しています。また、南アフリカでは部品等の物流や加工面で、アフリカでのトヨタ自動車生産にも深く関わっています。



<エジプトでの自動車生産>

エネルギー・プラント事業では、エジプトで火力発電プラントの建設や海洋ガス田掘削リグ傭船事業などの実績を積んできました。

### <最近の取り組み>

最近ではエネルギー・プラント事業で実績のあるエジプトで、新たにトヨタ自動車との合弁による「小規模自動車生産」を開始しました。またケニアでは、自動車事業で培った人材やネットワークを活用し、同国最大の地熱発電プロジェクトを受注しました。このように、自動車事業と自動車以外の事業とで、それぞれの事業基盤、ノウハウやネットワークを相互に利用して、新事業を生み出すというシナジー効果の創造を進めています。

また、こうした実績が評価され、本年8月にはケニア政府の国家ビジョン実現のために、自動車分野、電力・エネルギー分野、石油・鉱物資源分野、環境保全分野、農業産業化分野において、両者が協力して包括的に取り組んでいくことに関し覚書を締結しました。

<アフリカの自動車販売店>



<ケニアでの地熱発電>

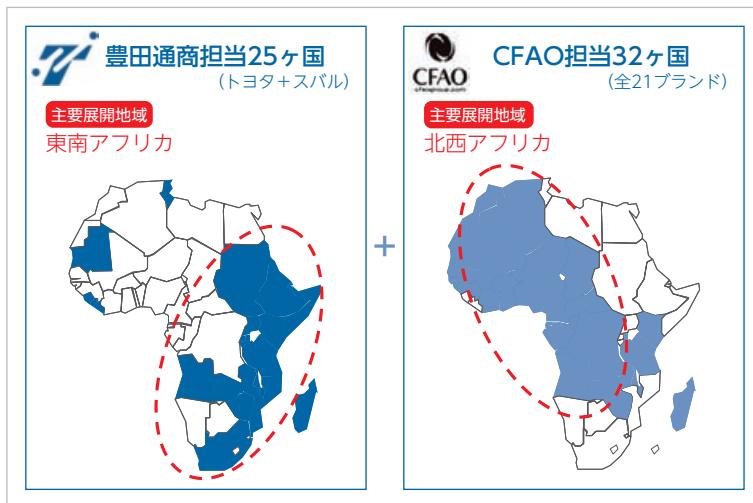
## CFAO社への資本参画の狙いと今後のアフリカでの取り組み

このような状況下、アフリカにおける事業を更に強化するため、本年8月2日にCFAO社の株式29.8%を取得し、更に追加株式取得を目指して、株式公開買付け（TOB）を実施しています。

当社が資本参画をしたCFAO社は1887年創業の、北部・西部アフリカを中心に自動車、医薬品、飲料等を取り扱うEuronext（ユーロネクスト）上場の商社です。

その事業領域や事業戦略は当社と類似しており、かつ地域での重複がほとんどないため、自動車事業をはじめ、様々な分野で相互補完が期待できます。

### <CFAO社との自動車事業の補完関係>



CFAO社に資本参画することにより、

- 1) 「モビリティ分野」では、現在東部・南部アフリカで当社が25ヶ国に事業展開している一方、CFAO社は北部・西部アフリカを中心に32ヶ国で事業展開しており、両社を合わせて48ヶ国とほぼアフリカ全土をカバーすることになります。また、CFAO社は、トヨタ車以外に20種類以上の自動車ブランドを取り扱っています。当社は、CFAO社のマルチブランド戦略の展開をアフリカ、フランス海外県などでサポートしていきます。
- 2) CFAO社のもう一つの柱である医薬品事業は、アフリカ20ヶ国とフランス海外県7地域において、約5,000ヶ所の病院、薬局へ、約20,000点の医薬品を販売しており、アフリカで医薬品卸売事業シェアNo.1となっています。当社も「ライフ&コミュニティ分野」において、医薬品・介護関連事業に注力してお



り、この分野でのCFAO社の事業展開をサポートしていきます。

- 3) CFAO社のアフリカでの人脈やネットワークを活用して、資源やインフラ関連の「アース&リソース分野」の事業を、これまで取り組みのなかった地域で拡大していくことを検討していきます。

## アフリカでの社会貢献活動

事業の拡大のみならず、当社はアフリカで社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。そのいくつかをご紹介します。

- 1) 教育関連では、1990年に「トヨタケニア基金」を設立し、教育を通じたケニア社会の健全な発展に貢献することを旨として、累計300名を超えるケニア人学生に奨学金を給付しています。
- 2) 環境関連では、2008年から、アンゴラで日本のNGO（非政府組織）と協力して、地雷除去活動を支援しています。長く内戦状態にあったアンゴラは、地雷の存在がインフラ整備の大きな足かせとなっており、専門家の現地指導により自ら地雷除去できるよう技術移転を進めています。
- 3) 地域福祉関連では、南アフリカで農業関連設備などの提供を行っています。一例として、南アフリカの貧困地域で自給自足農業から商業化を目指すため、労働環境の改善や生産性向上に寄与するかんがい施設など設備や土地を提供し、パプリカやチリペッパーをはじめとする野菜を手掛けるなど変革のための取り組みに協力しています。

このように、ビジネスだけでなく、社会貢献などのCSR活動にも積極的に取り組み、当社は今後もアフリカでのプレゼンスの向上に努めていきます。



<アンゴラでの地雷除去活動>